

明日に向かって

ともに創る

(116)

大船渡市長 戸田公明

市役所事務のデジタル化について

デジタル庁が去る9月1日に発足されました。コロナ禍で明らかになった日本のデジタル化の遅れについて、特別定額給付金を例に挙げますと、デジタル化の進んだ国では、すぐに国民の口座に振り込まれますが、日本では、申請書の事務手続きなどにより支給までに数週間を要することが明らかになったところです。

このような状況を受け、政府は手続きの迅速化と一層の市民サービス向上を図ることとし、次の3つを目標に掲げ、さらなるデジタル化を進めることとしました。

・デジタルファースト：

個々の手続・サービスが、一貫してデジタルで完結できるようにする。

・ワンストップ：

行政に一度出した書類・情報は再提出を不要にする。

・ワンストップサービス：

民間へのサービスを含め、窓口を1カ所で済ませる。これらが実現すれば、市民と行政の在り方が一変し、社会に大きな変革と進歩が生まれます。

その実現には、市民の皆さんにご協力していただくことが2つあります。

1つ目は、マイナンバーカードの取得です。これは、デジタル化においては、本人証明がマイナンバーカードによってなされるからです。10月10日現在、本市の人口の約3割が取得済みであり、未取得の方は、ぜひ早期に取得するようお勧めします。

2つ目は、パソコンまたはスマートフォンに、インターネット申請に必要なマイナンバーの利用者登録をしておくことです。登録には、マイナンバーカードが必要で、パソコンの場合は、カードリーダーを準備いただく必要があります。

マイナンバーの仕組みが政府により構築された当初は、内容は限定されていましたが、最近では、妊娠・出産(11件)、子育て(14件)、引っ越し・住まい(1件)、不幸(2件)、健康・医療(1件)、電子納税(e-tax)などのインターネット申請が可能となったことをはじめ、年金振込や、税・所得状況の確認など内容が充実しつつあります。

また、マイナンバーカードを健康保険証として利用する申し込みや、最近ではワクチン接種証明書の申し込みが予定されるなど、さらなる利便性の向上が見込まれています。

今後は、国がインターネット申請で対応可能な手続きの拡大に合わせ、本市も順次対応していく予定としており、少しずつですが市役所窓口に出向かなくても済むように、デジタル化の取り組みを進めていきます。

このように、インターネット申請が普及するには、マイナンバーカードの普及とマイナンバーの周知が必要となりますが、数年のうちに状況が大きく変わってくるものと確信します。

似たような事例では、飛行機搭乗手続があります。20年ほど前までは、旅行会社に出向き航空券を購入し、空港チェックインカウンターに並び、搭乗券と交換、保安検査場を経由して搭乗ラウンジに進みました。

現在は、オンラインチケットを保安検査場のリーダーにかざし搭乗券を受け、搭乗ラウンジに進みます。デジタル技術の発展で各段に便利になりました。

同様のことが市役所でも始まるうとしています。少子高齢化・人口減少の時代を乗り切るにはデジタル化による利便性の向上が必須です。市民の皆さんのご協力をよろしくお願い申し上げます。

北里大学市民公開講座を開催します

北里大学が有する最先端の知見を市民生活に生かすため、北里大学と連携した公開講座を開催します。

なお、本年度の公開講座は、北里大学海洋生命科学部の協力をいただき、北里大学三陸臨海教育センター(大船渡市三陸町越喜来)での活動などを踏まえながら、「三陸の海」をテーマとして実施します。

▷日時=11月27日(土)午後2時～4時

▷会場

シーパル大船渡 大会議室

▷内容および講師

・北里大学海洋生命科学部

難波信由准教授「海と陸の海藻の話」



・北里大学海洋生命科学部 ひろせ まさとし 廣瀬雅人講師
「海に暮らすちよっと変わった動物たち」

▷入場料=無料(事前申し込みが必要です)

▷申込方法=11月25日(木)までに、電話、ファクス、Eメールで申し込みください。

▷その他

- ・マスクを着用ください。また、発熱など風邪の症状のある人は参加を控えてください。
- ・来館時には、検温および手指消毒にご協力ください。
- ・新型コロナウイルス感染症の影響により、中止や延期となる場合があります。

▷申し込み・問い合わせ先

企画調整課 (☎内線214/☎264477/Eメール: ofu_kikaku@city.ofunato.iwate.jp)